

回覧

地域再生 協議会だより

百合が丘 2-29-6(老人憩いの家) 59-9356(火・金午前) issiki-saisei@grace.ocn.ne.jp

CS 組入れと「生涯学習」再編

POST 再生協議会、2本立てで検討へ

二宮町は12月15日(火)に開かれた拡大部会長会議の席上、再生協議会の解散後のあり方



について、「一色小コミュニティスクール(CS)を足場に活動の継承を考えたい」とする意向を明らかにした。その具体案を検討するため、町(地域政策課)、教育委員会、地域の3者で話し合いを始めたいとしている。一方、地区内からは現在の百合が丘・一色生涯学習推進会(露木孝夫会長)を新たな活動母体にする案も出ている。今後、この二つの動きをベースに協議会事業の

継承についての議論が進む見通しになってきた。

(裏面に続く)

You Tube 二宮こども音楽祭

県住宅供給公社部会が準備していた「二宮こども音楽祭・2020」の収録版が完成、youtube で公開中だ。2016年から毎年開催しているが、今年はコロナ対策に配慮し、演奏をディアンでの収録に切り替えた。毎年、協賛出演している「やまゆり合唱団」は昨年の映像を使い、後半に登場する。三浦部会長もゲスト出演した。

例年通り、ユースクラシックのメンバーを中心に編成した見ごたえのあるプログラム。恒例のイベントを何とか継続しようとの意欲が感じられる試み。パソコンの場合はチラシにあるURLをクリック、スマホの方はQRコードから視聴できる。ラディアンにいる気分を味わってください。



のぞく**地域応援隊**参加する



フェイスブックの「一色小学校区地域応援隊」をご存じですか——。一色小学校区や二宮町内の“ちょっといい話”をスマホやパソコンで手軽に見れる。町広報12月号にスマホのQRコードが載りました。パソコンはアカウント登録のうえ、ページを検索する。再生協議会、一色小コミュニティスクール関係者が運用管理している。投稿を歓迎します。現在の登録メンバーは110人。元気の出る情報でこの町を盛り上げましょう。

二宮町は先月の会合では、「(組織解消後は)自由にやってもらいたい」(村田邦子町長)と、町はコミットしないとしていたものの、関係者からの異論もあり、検討を継続していた。小島孝紀地域政策課長によると、「CS には学校を核にした地域づくりという考え方がある。CS の枠組みを使って再生協議会が蓄積してきた地域づくり、生涯学習などの可能性を検討したい」。ただ、現段階では具体案を示すには至っておらず、「教育委員会も入った関係者の協議」の提案にとどまっている。協議会の部会には CS とは畑違いの活動もあり、考え方の整理や方向付けは簡単ではなさそうだ。

もう一つの生涯学習推進会の改変は、百合の球根配布など現在の事業を洗い直し、併せて事業領域を緑が丘も含めた一色小学区全域に拡大しようというもの。現在の活動が担い手、事業の両面で転機を迎えており、組織目標が再生協議会と似通っていることから、「再生協の受け皿になりうる」との考えが浮上。百合が丘自治会とは事業見直しと支援の継続について合意している。

再生協議会の事業は令和 3 年度で終了することから、今年度中に同 4 年度以降の姿をまとめる方針。これまでの話し合いでは、「町の考えを聞いたうえで方向を出す」(岡村昭寿会長)としており、今回の CS 組入れ案と生涯学習推進会の改編案をもとに可能性を探っていくことになる。同日の会合では、年明け以降、人数を絞って具体案を詰めて行くことを確認した。

お試し移住に 11 ファミリー

空き家対策部会が実施した 4 週にわたる「湘南にのみや・お試し移住」(2泊3日)は 12 月 13 日(日)、最終の 3 家族を送り出し、計画通り終了した。初回では病気による欠席が出たものの、期間中に延べ 11 家族が来町し、「二宮生活」を体験した。今回の参加者からはすでに移住を決め、物件契約に入った家族が出ている。

この企画には東京 23 区 11 組、同 23 区以外 5 組、神奈川県 4 組、埼玉県 3 組など 25 組



の応募があった。滞在中には物件案内以外は自由に過ごしてもらい、コロナ対策に配慮しながらも極力、先行居住者と交流する機会を設けた(写真)。

応募理由(複数回答)を見ると、「西湘周辺で探している」13 組、「自然・アウトドアが好き」7 組、「子供の教育環境」9 組、「仕事がテレワーク」13 組、「知り合いの紹介」3 組など。応募者は西湘周辺への移住や二拠点居住を希望しており、これと合わせて自然環境やアウトドア生活へのニーズが高い。またファミリー世帯は子供育て環境への関心も高い。「週 2 日以上テレワークできる方」を募集条件にしたこともあり、応募の背景にはテレワークの普及があることが明確になった。

参加者の反応で共通するのは、ネットの情報ではわからない人の良さ、町の雰囲気、山あり海ありの自然環境の豊かさ、町民の暮らし方に直に触れたことが良かったと評価している。終了後の懇談やアンケートなどを見る限り、どの家族も好印象を持って帰った感じ。今後、可能な限り参加者の動向をフォローしていく。